



山本町長から辞令を受ける畑田監査委員 (7月15日)



決算審査を行う畑田監査委員 (奥右・7月26日)

第5回御船町議会定例会が7月14日、役場議場で開かれ、町監査委員に畑田良一氏(高木・61歳)を新任選出で同意しました。

監査委員は、議会と識見者から選出された2人で構成。主に▽定期監査▽行政監査▽例月出納検査▽決算審査などが任務です。

畑田監査委員は、「監査は合議体。

無駄な予算支出が無いように指摘することが目的。町は最少の経費で最大の効果をあげることが役目のため、地方自治法にのっとった監査を心がけていきたい」と決意を話していました。

畑田監査委員の任期は、平成23年7月15日から平成27年7月14日までの4年間です。

監査

町監査委員を識見者から新任選出 監査委員に畑田良一氏決まる

問 監査事務局(議会事務局内) ☎282-11386

開示

平成22年度開示請求の実績公表 情報公開は町民の知る権利

問 総務課管理係 ☎282-11111

町では、町民の知る権利を尊重した町政運営の公開を図り、町政への積極的な参加を促進するため、情報公開を推進しています。

情報公開は、町が保有している情報▽公文書▽図画▽写真▽電磁的記録などの閲覧や写しを町民の皆さんが請求できる制度です。また、個人の権利利益を保護す

るため、個人情報保護にも努めています。個人情報保護は、町が保有する個人情報の開示、訂正や中止を求める権利で、町民の皆さんが自分の情報を知りたい場合に開示を求めることができる制度です。

平成22年度は町に対して、情報公開と個人情報の開示請求実績は次のようになっています。

平成22年度開示請求実績

区分		情報公開	個人情報
開示請求		19件	1件
実施機関	町長	13件	1件
	議会	6件	0件
	教育委員会	0件	0件
	選挙管理委員会	0件	0件
	監査委員	0件	0件
	農業委員会	0件	0件
	固定資産評価審査委員会	0件	0件
決定内容	全部開示	8件	0件
	部分開示	11件	1件
	不開示	2件	0件
	不存在	2件	0件
	在否拒否	0件	0件
	取り下げ	0件	0件
不服申立		5件	0件

*開示請求と決定内容の件数は一致しません

開示請求1件に対して複数の決定があっているためです

接種

子宮頸がん予防ワクチンと日本脳炎予防接種 予防接種の全額助成と対象拡大

問 保健衛生課保健予防係 ☎282-11602

子宮頸がん予防接種を助成

町では、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を全額助成します。

子宮頸がんは、子宮頸部にできるがんで、子宮がんの8割を占めます。予防にはワクチン接種と定期的な検診が効果的と言われています。

ワクチン接種を希望する人は、町内の指定医療機関(左表)で電話予約を済ませ、母子手帳を持って受診してください。接種費用は無料です。

町内の指定医療機関

医療機関	連絡先
榊田外科医院	☎282-6363
笹原外科胃腸科医院	☎282-0070
泰泉堂牟田医院	☎282-0216
御船クリニック	☎282-0106

日本脳炎予防接種の対象拡大

日本脳炎予防接種の対象者が拡大しました。新たに、平成7年6月1日から平成19年4月1日生まれで、第1期の予防接種が済んでいない人の予防接種費用を助成します。

日本脳炎はウイルス感染によって起こる脳や脊髄など中枢神経の疾患です。脳炎を発症すると死に至る場合もあります。

予防接種を希望する人は母子手帳を持って、保健センターまでお越しください。接種費用は無料です。

▼通常の対象者 ▽第1期Ⅱ生後6カ月から90カ月未満▽第2期Ⅱ9歳から13歳まで

協定

国交省と大規模災害時の協定を締結 初動と防災に強いまちづくりへ

問 建設課維持管理係 ☎282-11312

御船町と国土交通省九州地方整備局(Ⅱ九地整)は7月19日、嘉島町役場で、大規模災害時の応援協定を結びました。

この協定は、町で大雨、地震、津波などによる大規模な自然災害の予測や発生した場合に、国への応援の直接要請が可能となり、被害の拡大や二次災害を防止するためのもの。

応援内容は①被害状況の把握②情



国交省と災害協定を結んだ2市6町の首長

報連絡網の構築③現地情報連絡員(リエゾン)の派遣④災害応急措置などが受けられる仕組み。ヘリコプターでの被災状況調査、排水ポンプ車や照明車などの資機材を投入して、派遣職員と町が連携を図り、災害支援や復興にあたるものです。

調印式には、上益城、宇城・八代地域2市6町の首長と、九地整熊本河川国道事務所の高木章次所長が出席して協定書に押印を交わしました。

首長代表で嘉島町の荒木泰臣町長は、「各地域で大規模災害が起きている。防衛協定は心強い。防災力と減災力を高めていきたい」とあいさつ。

高木所長は、「災害はいつやってくるかわからない。災害時の孤立集落の解消と避難経路の確保、復興の迅速化に努め、各地域の安全安心を確保していきたい」とあいさつを述べました。

今回の協定では、災害時の初動対応の迅速化と、防災に強いまちづくりが期待されます。